

ぼくあんべんぎゅうしんみちくようひ
牧庵鞭牛新道供養碑

- ◇ 指定日 平成7年3月6日
- ◇ 所在地 茂市
- ◇ 所有者 宮古市

新里地域和井内出身の牧庵鞭牛は、釜石市橋野^{りんそうじ}の林宗寺住職を46歳で引退し、72歳までの26年の生涯を生活道路改良の社会奉仕に捧げました。

牧庵鞭牛の建てた供養碑のうち、「新道供養」と刻まれた唯一のものになります。

宝暦8年(1758年)に行った^{ほろちほろや}裓地裓屋間の難所工事の、新道切り替え工事が行われました。裓地と裓屋は合わせてわずかに6戸の小集落で、^{もいち}茂市村の副え村になりますが、^{はらたい}腹帯村と茂市村の中間に位置するために、本往来の道中で不慮のことがあれば緊急の連絡所になるという重要な集落でした。

工事により新道がひらかれ、記念に供養碑が建立されました。



高さ 78cm 幅 50cm 厚さ 12cm



石碑拓本